

「図書館友の会全国連絡会」代表 福富 様

この度は、お手紙をいただきありがとうございます。当市の図書館シンポジウム及び新しい図書館づくりへの取組みに対し、関心とご理解をいただきましたこと大変嬉しく存じます。

当市図書館は、平成21年度に指定管理者制度を導入し、その後は、開館時間の延長や、特別イベントの実施などサービスの向上が図られ、利用者数や貸し出し数が、安定した伸びをみせております。5年間の管理運営委託が終了し、今後の民間委託を検討するにあたっては、多様化する住民ニーズや急激な時代の変化に対応した新しい図書館づくりを進めようということになりました。そのためには、市民や利用者の皆様の意思の反映が大切と考えており、シンポジウムやワークショップなどを開催しながら、市民の皆様とともに当市が目指すべき図書館像を描きたいと思っております。

図書館シンポジウムに武雄市長をお招きしましたのは、武雄市の新しい試みに対し、当市民の皆様も大変関心を寄せており、これまで図書館に関心がなかった方々にもシンポジウムにお越しいただくことで、当市の新しい図書館づくりに参加いただくためです。当市では、武雄市図書館をモデルにした図書館づくりではなく、市民の皆様が利用する、行きたくなる図書館づくりを考えております。第2回目のシンポジウムでは、皇學館大学教授をお願いし、図書館の果たすべき役割や機能を市民の皆様と一緒に考える予定です。このように、市民の皆様が図書館への関心を持っていただき、松阪にしかない、松阪らしい図書館を創造していくつもりです。

ご質問をいただきました「武雄市図書館の民間会社による管理・運営に関する声明書」についてですが、すでにオープンされた武雄市図書館の管理運営方法について、当市が賛否や意見を述べるべきではないと考えます。当市の考え方を回答とさせていただきます。

1. 自治体の首長が、特定の民間会社を指定管理に選定し、十分な情報公開をしない地方自治のあり方は問題

当市の指定管理者の選定の際には、広く公募して行うことを原則としております。また、非公募の場合にはその理由を明確にし、民間委託検討委員会や指定管理選定委員会などで、十分な検討をいただきます。

松阪市図書館が平成21年度に指定管理者制度を導入した際は、公募をいたしました。今後の指定管理者を選定する際にも、基本的には、公募にて選定する予定をしております。

2. 「民主主義の砦」としての公立図書館の役割と公共性への配慮が欠如している問題

書いていただいた文章通り、公共図書館には、すべての住民の皆様に「知る自由」を保障し、人々が意思決定をするための判断を支える役割があると考えます。そして、市民の皆様への生涯学習の拠点として、図書館サービスを提供していきたいと考えております。

3. 利用者の増加が図書館サービスに結びついていない問題

図書館は「量」ではなく「質」を問われるといわれ、利用者数、貸出し冊数の増加だけが、図書館を評価するものではないことは、承知いただいていると思います。図書館でどんなサービスを提供していくかが大切であり、それが図書館ごとの「らしさ」となり、市民の皆様の「チエ」と「チカラ」になるものと考えます。

松阪市図書館では、これまで図書館を利用されなかった市民の方々にも利用をいただきたいと考えており、子どもから高齢の方々まで、誰でもが利用するみんなの図書館にしたいと思っています。また、その利用に見合う図書館サービスが大切であると考え、利用者や市民の皆様とともに、皆様の「チカラ」になりうるサービスの充実を図っていきたく思います。

4. T-ポイントカードと図書館カードとの併用はCCCの営業支援となる問題

私たちが考える図書館事業の前提になっておりませんので、コメントをする立場にありません。

5. 図書館サービスの専門機能の継続性が担保されない問題

図書館の使命として、市の知的財産である郷土史料等を収集、保存し、次世代に引き継いでいくことがあり、司書の果たすべき役割は大きいといえます。また、司書を介して、人が本とつながり、人と人がつながること、その積み重ねがまちづくりにつながることは、図書館の役割として大切であり、司書の専門性が求められます。司書や業務の継続性の担保が重要であることは承知しておりますが、本市としましては、市民の皆様にご理解をいただきながら、民間委託を選択いたしてまいりました。図書館の果たすべき使命と役割を、委託業者と共通認識し、行政の責任において図書館サービスの継続性を担保しながらも、民間の活力を図書館に生かしていきたいと思っております。

6. CCCの採用は、地域振興に結びつかない問題

図書館の活用が地域振興に結びついていくかは、市民の皆さんの「チカラ」によるものと考えます。図書館の多くの資料とともに、民間会社がもつ全国の情報やノウハウを、市民の皆さんに伝えていただくことは、「市民力」の向上につながり、我が市の歴史や文化を地域振興につなげる「チカラ」になると期待

しております。

平成25年7月29日

松阪市長 山中 光 茂